

現状及び課題

■渋滞の要因

- 現交通量に対する道路の容量不足、信号待ちによる先詰まり、沿道店舗への出入り等による影響
- 現交通量のうち約40%が通過交通

■渋滞の対策

- 通過交通を転換させるため、迂回看板の設置や渋滞緩和に寄与すると想定される交差点等の整備
- 走行性向上のため、区画線の改良（中央ゼブラゾーンの設置、右折レーンの拡大）
- 上記の短期対策のほか、中長期対策として渋滞対策に資する事業中路線の整備

これまでの取組み

①TDM（迂回看板の設置）【短期対策】

- 県道山口防府線への通過交通を転換させるため、国道262号との分岐付近等に、迂回看板を設置

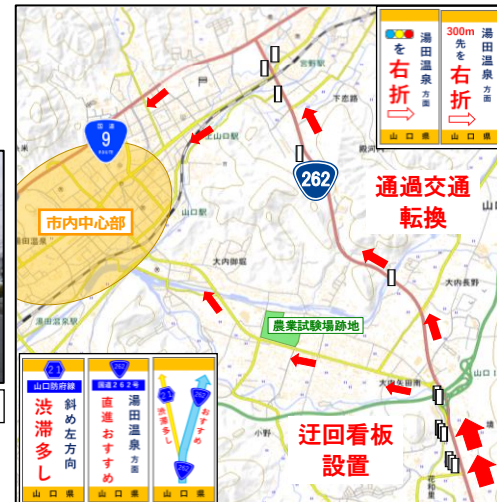
- 分岐地点での交通量の割合

	国道262号	山口防府線
設置前	58.6%	41.4%

↓ (R6.2) 4ポイント転換

	国道262号	山口防府線
設置後	62.3%	37.7%

一定の効果が確認できたところ ※TDM（交通需要マネジメント）



②交差点改良等【短期対策】

- 通過交通の転換により県道山口防府線の渋滞緩和に寄与すると想定される交差点を抽出

<対策例>

右折レーンの延伸、信号の調整など

<対策箇所>

- ①(仮)中村橋交差点、②(仮)山口中央高校交差点
- ③柘交差点、④(仮)市道12区管内1号交差点



③中央ゼブラゾーンの設置【短期対策】

- 走行性向上のため、中央ゼブラゾーンの設置及び右折レーンを延長



今年度の取組み

①TDM（迂回を促す動画製作）【短期対策】

- 国は、県道山口防府線から国道262号への迂回の時間短縮効果をPRするチラシ及び動画を作成し、動画についてYouTubeに投稿
- 県市は、チラシや動画を広く利用者に周知（Facebook、Instagram、HP、ラジオ、道の駅及び山口市役所等にチラシを設置）



チラシ

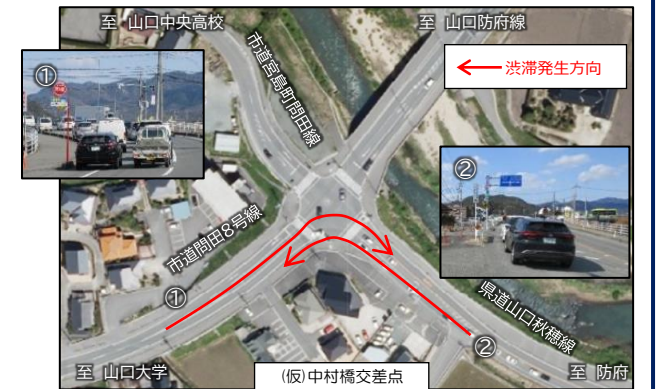
②交差点改良等【短期対策】

- 抽出した交差点の検討を進める

【例】「(仮)中村橋交差点」では測量設計を実施し、対策内容を検討

<現状>

山口大学方面から防府方面への右折時、防府方面から山口大学方面への左折時において、朝夕ピーク時を中心に渋滞が発生



③事業中路線の整備・その他路線の整備に向けた検討【中長期対策】

- 県道山口防府線の渋滞対策に資する事業中路線の整備を実施



- その他路線の事業化の可能性について検討を行うため、交通量推計を実施

今後の取組

- 引き続き、県市等で連携し、ソフト対策や交差点改良等の短期対策、事業中路線の整備等の中長期対策について、実現性や整備効果を考慮しながら、個々の対応を組み合わせ、最適な渋滞対策となるよう検討していく